

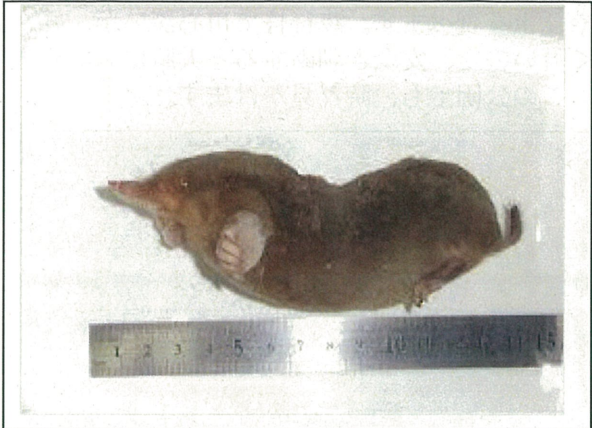
## 森の植物や鳥・虫などの動物を紹介します

### 1 コウベモグラ (トガリネズミ目(食虫目)モグラ科)

日本の固有種で、西日本に広く分布していますが、紀伊半島には本種は分布せず、アズマモグラが分布しています。

平地から山地まで広く生息し、1つのトンネルを縄張りにして生活をします。トンネルの中に巣を作り、その近くにトイレを作ります。そして、そのトイレで排泄をします。主にトンネルに落ちてきたミミズや昆虫を食べます。泳ぐこともでき、水辺までトンネルを掘った時に泳いで移動することがあります。

同種のアズマモグラとは、本州中部を境に分布域を分けています。



### 2 カヤネズミ (ネズミ目(齧歯目)ネズミ科)



カヤネズミは小型のネズミ類の1種で頭胴長 54~79mm、尾長 47~91mm、体重 7~14g の日本では一番小さなネズミです。

背中がオレンジ色、腹部は真っ白な色をしています。主に休耕田や河川敷などの、背丈の高い草原に暮らしています。ススキやオギ、チガヤなどイネ科の葉を利用し、地表から約1mの高さに直径10cmほどの小さな球形の巣を作ります。葉を利用して巣を作ることで、まわりの植物と同じ色となって同化することができます。この巣で、出産や育児、休憩を取っています。

主にオヒシバやエノコログサなどイネ科植物の種子や、バッタやイナゴなどの昆虫を食べて暮らしています。



### 3 ヒメネズミ (ネズミ目(齧歯目)ネズミ科)

日本固有種で、日本の全域に分布しています。

頭胴長 65~100mm、尾長 70~110mm、後足長 18~21mm、体重 10~20g になります。体毛は、背面が栗色で腹面は白色になります。

低地から高山帯までの森林に生息し、長い尾でバランスをとってつるや細い枝の上を走ることができるため、樹上でも生活します。夜行性で地上では主にドングリなどの種子や果実を食べます。また昆虫も補食します。



### 4 タヌキ (ネコ目(食肉目)イヌ科) (狸)

日本では河川や湖・海岸などの周辺にある広葉樹と針葉樹の混交林を好みます。夜行性ですが、人間の影響がない環境では、昼間でも活動し、単独かペアで生活します。

死んだふり、寝たふりをするという意味の「たぬき寝入り(擬死)」と呼ばれる言葉は、漁師の撃った銃声に驚いて気絶し、漁師が油断した時に息を吹き返して逃げ去るというタヌキの非常に臆病な性格からきています。

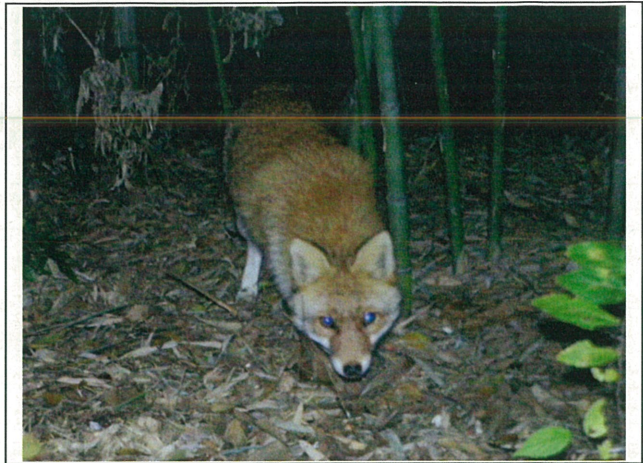
長い剛毛と密生した柔毛の組み合わせで、湿地も自由に行動し、水生昆虫や魚介類など水生動物も補食します。

## 5 キツネ（ネコ目(食肉目)イヌ科）（<sup>きつね</sup>狐）

日本では、本州・九州・四国と淡路島にホンドキツネが、北海道本島と北方領土にキタキツネが生息しています。近年、沖縄本島でも生息が確認されています。

群れずに、小さな家族単位で生活します。食性は肉食に近い雑食性で、鳥、ウサギ、ネズミなどの小動物や昆虫を食べます。夜行性で用心深いが、好奇心が強く賢いので、安全と判断すると大胆にもなります。

この公園でも、時々見かけます。



## 6 アナグマ（ネコ目(食肉目)イタチ科）

アナグマは寒帯から温帯域に広く分布し、国内では本州・四国・九州に分布しています。山地から平野部の森林地帯、雑木林、草原、ステップなどに生息しています。

主として夜行性で、昼間は巣穴に潜んでいることが多い。アナグマが使っていた巣穴を、キツネやタヌキが使うこともあります。アナグマは雑食性で、ミミズや昆虫類の

他、カエル(両生類)やトカゲ(は虫類)など、モグラやサギなどの小動物、鳥類、また果実やトウモロコシなどの植物も食べます。

国内では、アナグマとタヌキの両方を貉（ムジナ）と呼び、混同されることが多いようです。

## 7 アブラコウモリ（コウモリ目(翼手目)ヒナコウモリ科）

日本に生息する中では唯一の、住家性、すなわち家屋のみをすみかとするコウモリです。日本では、人間にとって最も身近なコウモリといえます。その習性から、イエコウモリ（家蝙蝠）の別名もあります。史前帰化動物とする説もあるようです。

夜行性で、昼間はねぐらで休み、日没近くから夜間に飛び回ります。カ、ユスリカ、ヨコバイなどの小型昆虫類を主食とし、ウンカ、甲虫なども捕食します。活動は日没後2時間程度が最も活発で河川などの水面や田畑・駐車場などのオープンスペース、街灯の近くなどを、ヒラヒラと不規則に飛び回り、飛翔昆虫を捕食します。

日本では、11月の中旬から冬眠に入り、暖かい場所に多数が集まって3月中下旬まで冬越しをします。



## 8 ニートリア（ネズミ目(齧歯目)ニートリア科）



南アメリカ原産で、日本には本来分布していない外来種です。特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律では指定第一次指定種に分類されています。

ニートリアとはスペイン語でカワウソ（の毛皮）を意味し、毛皮を取るために移入され日本にも分布しました。

大型の齧歯類で、水辺の生活に適応しており泳ぎが得意で5分以上潜水することもあります。水生植物の葉や地下茎などを食べ、日中は巣穴で休息して明け方と夕方に活発に行動します。本公園でも招かざる客で困っています。

（今回は、哺乳類調査報告からまとめました。）